

# ダウン症のある子どもの血液検査について

ダウン症のある子どもたちの血液に関する問題はまれです。しかし、これらの状態を理解することは重要です。この資料では、血液検査をする理由と方法について学びます。

## 全血算（CBC）検査とは何ですか？

私たちの血液には、細胞、タンパク質、水分が混ざっています。CBC 検査は、骨髄で作られる 3 種類の細胞について調べます。

- **赤血球**—ヘモグロビンがあり、ヘモグロビンは全身に鉄分と酸素を運びます。ヘモグロビン検査で、赤血球の状態を調べます。
- **白血球**—感染から体を守る働きがあります。すべての白血球は、未熟な状態から始まり、完全に機能するようになります。未熟な細胞があまりに多く作られると白血病になることがあります。
- **血小板**—出血を止める働きをします。血小板が十分でない場合、出血のリスクが高まります。

## どれくらいの頻度で血球数を検査することになっているのですか？

CBC は新生児の時に、そして、特に問題がなければ、1 歳から少なくとも 1 年毎に検査します。

## なぜ、貧血になりやすいのですか？

- 貧血（鉄欠乏性貧血）は、赤血球の鉄分が不足することによりおこる病気です。
- 貧血になると、体に十分な酸素を送るために心臓に負担がかかります。
- ダウン症のある子どもは、他の子どもより鉄分が少ないことが分かっています。

## 鉄分補給が必要ですか？

- 鉄欠乏性貧血の場合、鉄剤の服用が必要な場合があります。
- 鉄は脳の多くの機能に必要であるため、十分な鉄を摂取することは重要です。
- しかし、鉄分の摂りすぎは危険です。かかりつけの医師に相談してください。

## TAM とは何ですか？

一過性骨髄増殖性障害（TAM）は、血球が正常に作られなくなることで起こります。

- ダウン症のある子どもの約 10 人に 1 人の割合で見られます。
- TAM では、白血球の未熟な形態（白血病様芽球）が増加します。また、正常な細胞が減少し、貧血になることがあります。
- ほとんどの子どもでは、生後 3 カ月までに自然に治ります。しかし、中には後に白血病を発症するお子さんもいます。
- もし、あなたのお子さんが TAM である、または TAM であった場合、小児血液専門医による定期的な検査が必要です。